

平成17年8月29日
株式会社 新生銀行
(コード番号: 8303)

新生銀行、バイオ・ライフサイエンス分野の国際クラブ組織「コスモス・アライアンス」に加盟

- 邦銀初の加盟でバイオ・ベンチャー企業への投資機会拡大へ -

当行はこのたび、バイオ・ライフサイエンス分野における国際クラブ組織「コスモス・アライアンス」(本社: 米国ワシントン D.C.、会長兼 CEO フランク・ヤング博士)に加盟いたしました。

コスモス・アライアンスは、バイオ・ライフサイエンス分野における最先端技術の発展および事業化を推進するため、会員企業相互の投資、共同研究ならびに技術交流を図ることを目的とする国際クラブ組織です。当行は同組織への加盟により、当行のプライベートエクイティビジネスにおける専門知識やグローバルなネットワークを活用し、バイオ・ベンチャー企業への投資、育成機会の拡大を目指します。なお、同組織への加盟は、わが国の銀行としては初めてとなります。

コスモス・アライアンスは、2002年8月に元・米食品医薬品局長官フランク・ヤング博士により、生死にかかわる病気に苦しむ人々を助けるため、バイオ医薬品開発の促進を目的として発足しました。同組織は、エクイティ投資や共同事業の機会を求めているバイオ・ベンチャー企業を厳選し、これら企業とバイオ・ライフサイエンス関連の大企業や投資家とをつなぐ役割を果たしています。

今回の加盟について、当行のプライベートエクイティ部長藤井ダニエルは次のように話しています。「コスモス・アライアンスは当行にとって医療およびライフサイエンス分野における投資機会を拡大するための理想的なプラットフォームです。このアライアンス組織を通じて、会員であるバイオ・ベンチャー企業の発展をサポートすることは大変光栄です。」

コスモス・アライアンスのヤング博士は当行の加盟について次のように話しています。「新生銀行の豊富な経験は同組織に新たな展開をもたらしてくれると思います。資金提供、金融市場における高い専門能力や分析力などにより、新興バイオ・ライフサイエンス企業に明確なメリットをもたらし、さらに投資家に対する価値も高めるでしょう。こうした付加価値をすぐに実現できることはまれなことです。また、日本の銀行業務に新しいビジネスモデルを打ち出した同行が、再び最前線に立って、投資家や新興企業が科学、経営、そして収益性における高い可能性を追求するのを支援されることを大変光栄に思います。」

当行では、同組織への加盟により、バイオ・ライフサイエンス産業におけるビジネスネットワークを拡大し専門知識や経験をさらに高めていくことを目指します。また、会員企業とのリレーションシップを拡充することにより、今後様々なビジネス機会を見出せるものと考えています。

以上

コスモス・アライアンスについて

コスモス・アライアンスはバイオ・ライフサイエンス分野における最先端技術の事業化および発展を推進するための国際クラブ組織です。同組織は、革新的なバイオ技術を持つベンチャー企業と、新規事業への進出やエクイティ投資による収益拡大を目指す有力企業との提携を促進しています。研究開発型企业は、彼らの技術に関心のある企業から研究委託を受けるため同組織に加盟しています。また、大学や研究機関等も、これらの機関が持つ革新的な研究や技術を加盟企業に提供し、有益な戦略的パートナーシップを形成するため加盟しています。

同組織には現在、三菱商事、信越化学工業、オリンパス、JSR、大日本印刷、東京海上日動火災保険、富士写真フイルムが大企業会員として加盟しています。

同組織についての情報はwww.cosmosalliance.com(英文)をご覧ください。